

2020 会 告 No.3



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

- 化学工学会第85年会 概要……………本号4ページ
- 令和2年度化学工学会賞候補者の推薦について……………本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2020)
◇年会	3/15～17(関西大学)
◇秋季大会	9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	7/2～3(秋田ビューホテル)
◇学生発表会(東地区)	3/7(中央大学)
(西地区)	3/7(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2020年3月 March			
5～6	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(東京都)		1号6
7	第22回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)		2号7
7	第22回化学工学会学生発表会岡山大大会(岡山県)		2号7
9	第17回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		1号9
14	第5回「しごとの常識」塾 ～応用編①情報としごと～(大阪府)	3月9日(月)	12号5
14	第19回反好会(反応工学部会若手会)講演会(大阪府)	3月4日(水)	本号10
15	2019年度インターンシップ報告会(大阪府)		2号7
15	令和2年度粒子・流体プロセス部会 総会・部会セミナー(大阪府)	3月2日(月)	2号8
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)		本号4
17	第21回気液固分散工学サロン(大阪府)	3月5日(木)	2号8
26～27	第21回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	3月5日(木)	2号9
30	第21回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	3月5日(木)	2号9
2020年4月 April			
2	第21回上席化学工学技士交流会(東京)(東京都)	3月29日(日)	本号9
10	2020年度第1回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)	4月3日(金)	本号10
11	第6回「しごとの常識」塾 ～基本編②チームワーク～(東京都)	4月6日(月)	本号9
17	中国地区化学工学懇話会 2020年度総会・記念講演会(広島県)	4月3日(金)	本号12
23	SCE・Net第21回総会・記念講演会(東京都)	4月16日(木)	本号10
2020年6月 June			
6	第7回「しごとの常識」塾 ～応用編②IT革命とグローバル化～(東京都)	6月1日(月)	本号9
22～24	第44回基礎化学工学演習講座 第2クール(愛知県)		本号10
27	第57回化学関連支部合同九州大会・外国人研究者交流国際シンポジウム(福岡県)	4月10日(金)	本号12
2020年7月 July			
8～10	第44回基礎化学工学演習講座 第3クール(愛知県)		本号10
15～17	第44回基礎化学工学演習講座 第4クール(愛知県)		本号10
2020年9月 September			
2～4	第44回基礎化学工学演習講座 第5クール(愛知県)		本号10
9～11	第44回基礎化学工学演習講座 第1クール(愛知県)		本号10

会 告

24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		
-------	--------------------	--	--

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月15～17日(日～火)	International Chemical Engineering Symposia 2020 (ICChES 2020) (大阪府)		1号6

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
腐食防食部門委員会 第333回例会 『銅および銅合金の腐食事例』(大阪府)	3月2日(月)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp
第34回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会 (神奈川県)	3月3～5日(火～木)	エレクトロニクス 実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) ishikawa@jiep.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jiep2020s/top
第1回世界エンジニアリングデイ記念シンポジウム ～ダイアログ：持続可能な成長のための工学の未来～ (東京都)	3月5日(木)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp http://www.jfes.or.jp/
第70回医用高分子研究会 ～循環器系医療デバイス開発の歴史と新展開～(大阪府)	3月6日(金)	高分子学会 医用高 分子研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) https://member.spsj.or.jp/event/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020) (兵庫県)	3月8～11日 (日～水)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
第12回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム (ISPlasma2020) / 第13回プラ ズマナノ科学技術国際会議 (IC-PLANTS2020) (愛知県)	3月8～11日 (日～水)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2020@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
19-1 高分子と水・分離に関する研究会 『2019年度界面動電現象研究会』(東京都)	3月9日(月)	高分子学会 高分子 と水・分離に関す る研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) https://member.spsj.or.jp/event/
第1回SICEチュートリアルセミナー 「センシングからシステム化まで最前線技術のフルコース」 (東京都)	3月9日(月)	計測自動制御学会	03-3292-0314 bumon@sice.or.jp
公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2020 －文理の協創によって社会的課題に立ち向かう－」 (東京都)	3月12日(木)	日本学術会議 総合 工学委員会	03-5841-6960 (03-5841-0651) SCJ_sogo2020symp@save.sys.t.u- tokyo.ac.jp
第70回粉体技術専門講座～食品粉体に関わる先端技術～ (東京都)	3月13日(金)	日本粉体工業技術 協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1
第54回日本水環境学会(岩手県)	3月16～18日 (月～水)	日本水環境学会	http://www.jswe.or.jp/event/lectures/2019per.html
第11回日本複合材料会議(JCCM-11) (大阪府)	3月17～19日 (火～木)	日本材料学会, 日 本複合材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第172回講演会 「次世代自動車(EV, 燃料電池)の新たな兆し」 ～樹脂化と成形加工技術～(東京都)	3月24日(火)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 03-3779-9698 kikaku-event@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/

生産システム部門研究発表講演会2020(東京都)	3月26～27日 (木～金)	日本機械学会	03-5360-3503 (03-5360-3508) kumagai@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/msd/
第125回触媒討論会 特別シンポジウム(東京都)	3月27日(金)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3191-8225) secretariat@shokubai.org http://www.shokubai.org/general/kaikoku/200327sympo.pdf
技術セミナー 「圧力容器に関する国内規格とASME規格の動向と解説」 (東京都)	4月15日(水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/
酵素工学会 第83回講演会(京都府)	4月17日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
第37回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月21～22日 (火～水)	日本空気清浄協会	http://www.jaca-1963.or.jp/
第5回マルチスケール材料力学シンポジウム(東京都)	5月29日(金)	日本材料学会	jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月30～31日 (土～日)	マリンバイオテクノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/
第57回日本伝熱シンポジウム(石川県)	6月3～5日(水～金)	日本伝熱学会	076-234-4740 076-234-4743 symp2020@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2020/index.html
20-19 講演会「第25回動力・エネルギー技術シンポジウム」 (北海道)	6月18～19日 (木～金)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	smiwa@eng.hokudai.ac.jp https://www.eng.hokudai.ac.jp/edu/div/eneenv/PES25/index.html
第57回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月7～9日(火～木)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
メンテナンス・レジリエンス OSAKA2020(大阪府)	7月29～31日 (水～金)	日本プラントメンテナンス協会, 日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp
混相流シンポジウム2020(静岡県)	8月21～23日 (金～日)	日本混相流学会	konsosymp@jsmf.gr.jp
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月15～19日 (日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
2020 環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	12月15～20日 (火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年7月5～8日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

化学工学会第85年会 概要

会 場：関西大学 千里山キャンパス (〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)
 会 期：2020年3月15日(日)～3月17日(火)
 懇 親 会 会 場：関西大学 千里山キャンパス 凜風館
 懇 親 会 日 時：2020年3月16日(月)18:00～20:00
 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/85a/>

化学工学会第85年会は、2020年3月15日(日)～17日(火)の3日間、関西大学千里山キャンパスにおいて開催されます。

当日参加登録も受け付けますので、是非奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日・同日程で併催される国際会議International Chemical Engineering Symposia 2020 (IChES 2020)へもご参加いただけます。

会場へのアクセス



注意事項

会場内は喫煙場所を除いて全面禁煙です。ご協力ください。

開会式等

日時 3月15日(日)9:00～11:20
 場所 関西大学 千里山キャンパス BIGホール100

- ◇開会宣言
- ◇名誉会員推薦式
- ◇会長挨拶
- ◇学会表彰等授与式
- ◇学会賞受賞記念講演

懇親会

日時 3月16日(月)18:00～20:00
 場所 関西大学 千里山キャンパス 凜風館

企画紹介

講演日時や会場等の詳細については、大会webサイトをご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

◇学会賞
 X106(3月15日(日)10:40～11:20)
【池田亀三郎記念賞】
 高圧流体の輸送物性の測定と推算
 (中央大学)船造俊孝氏

◇研究賞
 L113(3月15日(日)13:00～13:20)
【實吉雅郎記念賞】
 膜場を活用するBio-Inspired化学工学に関する研究
 (大阪大学)馬越 大氏

J201(3月16日(月)9:00～9:20)
【玉置明善記念賞】
 難水溶性エステル合成を対象とした反応プロセス工学研究
 (東北大学)北川尚美氏

◇研究奨励賞
 K213(3月16日(月)13:00～13:20)
【玉置明善記念賞】
 次世代高温潜熱蓄熱・熱輸送技術の開発
 (北海道大学)能村貴宏氏

I209(3月16日(月)11:40～12:00)
【内藤雅喜記念賞】
 イオン液体の特性を示すオルガノシリカ膜の開発とそのガス・蒸気透過機構評価に関する研究
 (大阪大学)廣田雄一朗氏

L213(3月16日(月)13:00～13:20)
【實吉雅郎記念賞】
 超臨界二酸化炭素を溶媒とした高速連続抽出分離技術の開発
 (産業技術総合研究所)藤井達也氏

◇技術賞
 F213(3月16日(月)13:05～13:25)
 ビール醸造工程における酵母スラリー攪拌システムの開発
 (アサヒケイオリティードイノベーションズ(株))川村公人氏・
 (株)神鋼環境ソリューション)菊池雅彦氏・南 俊充氏・岡本幸道氏

◇女性賞
 B219(3月16日(月)15:00～15:20)
 化粧品プロジェクトチームリーダーとしての活動
 (北海道曹達(株))北澤由梨亜氏
 B217(3月16日(月)14:20～15:00)
 材料科学のための表面力測定の実用展開
 (東北大学)栗原和枝氏

◇アジア国際賞
 R216(3月16日(月)14:10～14:50)
 Analysis and Design of Solid Oxide Fuel Cell

Systems for Highly Efficient Power Generation
 (Chulalongkorn University)
 Amornchai Arpornwihanop氏

S307(3月17日(火)11:00～11:30)

Rational Synthesis of Materials by Controlling
 Chemical Diffusion and Reaction

(Chinese Academy of Science) Yongsheng Han氏
 R113(3月15日(日)13:00～14:00)

Clathrate Hydrate, what can Engineers do with it?
 (National University of Singapore)
 Praveen Linga氏

R201(3月16日(月)9:00～9:40)

Nanomaterials as High-Capacity Rechargeable
 Battery Electrodes

(National Tsing Hua University) Hsing-Yu Tuan氏

化学工学ビジョンシンポジウム

◇第5回 SDGs達成に向けた札幌宣言の実行
 日時 3月15日(日)13:00～17:00

会場 E会場、F会場
 共催 一般社団法人日本化学工業協会(予定)
 関西大学環境都市工学部

協賛 公益社団法人新化学技術推進協会

後援 国際連合工業開発機関(UNIDO)

化学工学会は、2019年9月APCChE2019において「国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—」と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、気候危機、小島嶼開発途上国の危機などの認識のもと、18の宣言文からなっています。AIやIoTなどの新技術を取り込み、女性の研究者・技術者を増やし、ジェンダー不平等の是正と多様性の取り入れによってすべての働く人々の就業環境の改善を図り、社会的弱者、難民への能力開発機会に寄与することを教育・研究・産業の役割として宣言しています。特徴は、EfficiencyからSufficiencyへ、すなわち効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革を謳っていることです。この宣言を学会内外に広め、実行に移すための方策を議論します。

化学産業技術フォーラム

◇高経年化した化学装置の余寿命の評価およびその延長

日時 3月17日(火)9:00～12:00
 会場 B会場

日本の化学プラントは新設されることは稀となり、如何にその寿命を延長しながらも安全に操業していくか、が鍵となっています。化学装置材料部会で議論してきた高温・高圧で用いられる金属材料のクリープ余寿命評価や、有機材料の寿命評価や有機材料での補修による寿命延長といった話題を中心に、損傷の事例やコストといった操業現場の実態を交えながら、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

産業セッション

日時 3月16日(月)～17日(火)

◆口頭セッション

◇日本の産業を支える技術イノベーション

日時 3月16日(月)9:00～11:55
会場 E会場

日本の労働人口が大幅に減少していく中、企業はイノベーションにより、より付加価値の高い技術を創造して競争力を高めていく必要があります。世界的にもSDGsやESG経営に注目が集まる中、今回はサステナビリティを念頭に、日本の得意とするエネルギー・環境技術を中心にテーマを選定し、最新技術を紹介いたします。

◇高度生産システム検討委員会成果報告

日時 3月16日(月)9:00～11:50
会場 F会場

化学工学会ではエネルギー多消費のエチレンプラントを選定し、連続運転を阻害する800℃以上での熱分解のコッキング汚れ、中温蒸留系での重合汚れに対するメカニズム解明と防止策を目指して、2011年から複数企業と複数大学・国研の産学連携コンソーシアムを組んで活動を行いました。成果報告を行うとともに、新たな産学連携技術イノベーションに繋げたいと考えます。

◇海外留学生と企業との就職に関する交流会

日時 3月16日(月)9:00～12:30
会場 A会場

現在、国の指導の下、各大学は積極的に海外留学生を受け入れています。化学工学分野の学部・学科も数多くの留学生を迎えています。一方、この有為な人材の国内企業での活用については、次のような課題があります。日本企業に就職を希望する海外留学生サイドの課題として、国内の日本企業の情報や就職活動に関する情報が殆どないか非常に少ないです。大学サイドの課題として、日本企業への就職について、サポートが十分出来ていません。企業サイドも、海外留学生を採用したいけれども、彼らへのアプローチ方法やコミュニケーション等で悩んでいます。従って、上記の課題に対応する目的で、化学工学会の年会で、就職を希望する海外留学生と企業とのコミュニケーションの場を、学会が主催して、設定することとしました。

◇日本のモノづくりを取り戻す革新型生産プロセス - フロー連続生産 -

日時 3月16日(月)13:40～17:20
会場 F会場

革新的生産プロセスの一つであるフロー合成は、バッチ生産に代わる連続生産プロセスとして注目されています。近年FDA(米国食品医薬品局)が連続生産を推奨し始めたこともあり、医薬品分野でも連続フロー式製造プロセスの研究開発が急加速しています。今回は、フロー合成及び、マイクロリアクターの現状・将来展望と共に、関連する化学会社・装置会社での開発・実用化事例を紹介します。

◇化学関連産業の経営課題 - SDGsとサーキュラーエコノミー

日時 3月16日(月)13:50～17:30
会場 E会場

大量生産・大量消費・大量廃棄型使い捨て社会からの転換を求めるサーキュラーエコノミーについては、2015年12月に欧州委員会から「サーキュラーエコノミーパッケージ」が制定されるなど、関心が深まっています。今回は、先進的にサーキュラーエコノミーに沿ったビジネス展開を目指している素材分野、組立加工分野の企

業の事例、先行するEUなど海外の動向などを紹介し、化学関連産業の取組むべき課題について議論します。また、近年の世界的な異常気象現象が頻発する中であっても、地球温暖化対応に各国の足並みがそろわないことなどもあり、経済と環境のウインウインの関係は可能かという視点での議論も行います。

◇脱化石資源に向けたプラスチックサプライチェーンへの挑戦

日時 3月17日(火)9:10～12:00
会場 G会場

廃プラスチックによる環境汚染問題の解決と、化学産業におけるCO₂削減および脱化石資源化の進展には、高度循環型社会の実現と代替資源の活用が必須です。本セッションでは、難リサイクル性プラスチックのケミカルリサイクルによる再原料化、バイオプラスチックなど植物資源原料の利用、排出CO₂の再資源化へ向けた戦略的な取り組みを紹介し、2050年に向けたプラスチックサプライチェーンへの道筋を考えます。

◇未来に向けたAI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み

日時 3月17日(火)9:55～15:40
会場 E会場

本セッションでは、「未来に向けたAI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み」をテーマに、AI、IoT、ビッグデータを未来の現場力にいかにか活用するかの視点に立って、先進企業の事例を紹介いたします。口頭発表とポスター発表を組み合わせ、講師から直接話を聞き、Face to Faceで質疑応答する機会を設けて、講師と来場者の相互の情報交換を図ります。

◇忘れてはいけない単位操作 - (分離技術の事例と最新動向) -

日時 3月17日(火)13:00～15:40
会場 G会場

化学工場のプロセスは、基本的な単位操作の組み合わせです。しかし、現実のプロセスでは教科書に載っている単位操作概論では対応できない事象が数多くあります。そのような中で、各社の対応例や最新技術を紹介して頂きます。今回のテーマは多くの基本的な単位操作が含まれる「分離技術」です。

◆ポスターセッション

◇未来に向けたAI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み

日時 3月17日(火)16:00～17:30
会場 F会場

国際シンポジウム

◇持続可能社会構築へ向けた最近のガスハイドレート研究

日時 3月15日(日)13:00～17:20
3月16日(月)9:00～11:50

会場 R会場(15日)、S会場(16日)
主催 基礎物性部会、超臨界流体部会

エネルギー資源としてだけではなく、ガス分離、貯蔵・輸送、蓄熱、海水淡水化などの分野でも応用利用が期待されているガスハイドレートに関する国際シンポジウムを開催します。2019年度SCEJアジア国際賞を受賞されたシンガポール国立大学のProf. Praveen Linga氏の受賞記念講演の他、国内外の大学・企業の研究者をお招きして、最新の研究内容をもとに、持続可能社会構築に必要なガスハイドレートの基礎物

性、応用技術について幅広い分野の方々に知っていただくとともに、議論を深めます。

◇エネルギー変換・貯蔵の最前線 - ナノ材料合成 -

日時 3月16日(月)9:00～13:30
会場 R会場

主催 材料・界面部会
2019年度のアジア国際賞を受賞されたHsing-Yu Tuan先生をお招きし、ナノ材料の合成とエネルギー分野への展開に関する国際シンポジウムを開催します。二次電池、燃料電池、水素生成、太陽電池、二酸化炭素貯蔵などに関するナノ材料合成に取り組むアジアの著名な研究者を招待して、ナノ材料合成およびエネルギーデバイスへの展開の最新の研究動向について議論します。また、本シンポジウムは「エネルギー変換・貯蔵の最前線 - システム・デバイス -」と連携して開催します。

◇エネルギー変換・貯蔵の最前線 - システム・デバイス -

日時 3月16日(月)13:30～17:40
会場 R会場

主催 エネルギー部会
燃料電池や二次電池、次世代電池のデバイス化やシステム化、またエネルギー貯蔵や輸送プロセスに関する国際シンポジウムを開催します。アジア国際賞を受賞されたタイ Chulalongkorn大学のAmornchai Arpornwichanop氏の基調講演をはじめとして、デバイス化やシステム化に立脚して、電池・電気化学分野の研究に取り組まれている先端研究者を国内外からお招きして、関連研究者とともに基礎研究から応用まで広い内容で議論することで、本分野の発展に貢献することを目指します。なおシンポジウムは「エネルギー変換・貯蔵の最前線 - ナノ材料合成 -」と関連するものです。

◇反応を利用した粒子製造プロセス

日時 3月17日(火)9:40～11:50
会場 S会場

主催 材料・界面部会
反応晶析を利用した無機化合物の粒子製造に関する国際シンポジウムを開催します。アジア国際賞2019を受賞されたYongsheng Han先生の基調講演や反応晶析に関する招待講演に加え、二次電池の材料として利用される無機化合物の製造法について議論します。

◇Hydrogen Safety Conference Osaka 2020

日時 3月16日(月)9:00～16:50
会場 X会場

水素は、再生可能エネルギーとならぶ新たなエネルギーとして注目されています。しかしながら、「水素社会」を実現するためには、コストや水素の安定供給を確保するためのインフラ開発、ならびに水素の安全な利用に関する課題を明らかにし、解決しなければなりません。本セッションでは、「水素社会」に関する基調講演や招待講演を交えながら、水素利活用グローバルな見通しを幅広く議論します。

戦略企画センター

次世代エネルギー社会検討委員会・
CCUS研究会企画

「産業部門からのGHG排出大幅削減の可能性とCCUS技術の貢献」

日時 3月16日(月)9:30～16:40
会場 G会場

温室効果ガス(GHG)排出80%削減という2050年目標に向けた技術オプションとイノベーションに対する関心が高まる中、化学工学会戦略推

進センター次世代エネルギー社会検討委員会において、産業部門の超低炭素化のカギとなる鉄鋼・化学産業に着目し、鉄鋼協会との連携も含め、検討を進めてきました。今年度は部会横断型の研究会としてCCUS研究会も発足しました。本シンポジウムは次世代エネルギー社会検討委員会とCCUS研究会の合同シンポジウムとして企画し、GHG排出の大幅削減に向けた論点とその中でのCCUS技術の位置づけを展望します。

第1部 産業部門からのGHG排出大幅削減の可能性と課題

第1部では、GHG排出80%削減に向けたエネルギー需給の姿や、鉄鋼業の超低炭素化のための従来の延長線上にはない製鉄プロセスなどについて考えます。

第2部 CCUS技術の社会実装に向けた課題の俯瞰的整理

第2部では、CO₂の回収、利用、固定化技術の開発動向など幅広い講演を踏まえ、CCUS技術のGHG排出削減への寄与や、課題と道筋について議論します。

男女共同参画委員会企画
「女性技術者フォーラム」

日時 3月16日(月)13:00～16:20
会場 B会場

今回のフォーラムは、ミスター・ダイバーシティとも呼ばれる元カルビー(株)代表取締役会長兼CEOの松本晃氏による招待講演、化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演および「微粒子と流体」をテーマとして当該分野で活躍する女性研究者および技術者による依頼講演から構成されました。フォーラムを通じて女性の技術者、研究者、学生の皆さんの交流の場を提供するとともに、キャリア形成について参考としていただくことを目指します。

人材育成センター 高等教育委員会企画
「2019年度インターンシップ報告会
および交流会」

日時 報告会：3月15日(日)15:00～16:55
交流会：3月15日(日)17:00～18:30

会場 報告会：D会場

企業のインターンシップ活動の紹介、研修生を直接指導した社員(メンター)からの研修状況報告、インターンシップ研修を修了した学生からの研修体験の発表を行います。またその後、情報交換や意見交換の場として交流会も行います。本報告会・交流会のみの参加学生は年会参加費無料です(但し他の年会のセッションには参加不可)。来年度のインターンシップ研修をお考えの学生や企業は是非参加して、情報収集にご活用ください。

福島復興・廃炉技術研究会企画
「福島復興・廃炉技術シンポジウム」

日時 3月16日(月)9:20～12:00
会場 B会場

本年度活動を開始した福島復興・廃炉技術研究会では、化学工学の立場から福島の復興と第1原子力発電所の廃炉に関する技術を検討しています。本シンポジウムでは、オンサイトにおける汚染水処理、デブリ取り出し、オフサイトにおける放射線汚染水処理など本研究会に関わる技術の開発状況について発表・討論を行います。

「若手研究者が考える未来の化学工学研究」

日時 3月17日(火)13:00～16:00
会場 A会場

異なるバックグラウンドをもつ若手研究者同士が、研究ポスターを前に、歓談しつつも遠慮なく議論を交わす、そんな場を提供したいと思えます。単位操作を基盤としたかつての化学工学は隆盛を極め、新たなフェーズへ移行する時期を迎えています。その枠組みを超越した未来の化学工学研究を、次世代を担う若手研究者が活力にあふれた発想に基づいて発信していきます。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時 3月15日(日)13:40～17:10
会場 B会場

粒子・流体プロセス部会のセッションとして、特別講演ならびに部会賞受賞記念講演を行います。

事前参加登録方法

大会に参加いただくためには参加登録が必要です。

事前参加登録は終了しております。

事前参加登録されていない方は当日参加登録をお願いします。

◇当日参加登録における年会費納入、会員資格の確認

受付にて年会費納入の確認をさせていただきます。年会費が納められていない場合、その場で未納分をお支払いいただき会員資格相当の大会参加費をお支払いいただくか、会員外参加費をお支払いいただくことになります。

法人会員の方も同様に、受付にて法人会員資格の確認をさせていただきます。

会費未納の方が年会費を納めてから入金を確認されるまで、約二週間かかります。当日までに入金を確認されないおそれがある場合は、年会費納付時の受領証を受付にて提示願います。

会員資格ならびに入会手続きに関するお問い合わせは、化学工学会本部(<http://www.scej.org/>)をお願いします。

参加費

大会参加費にはプログラム集(冊子;当日会場にてお渡しします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会		懇親会	
	当日	備考	当日	備考
化学工学会個人会員の方				
正会員	12,000円	不課税	7,000円	課税税込
シニア会員	8,000円		5,000円	
永年会員	7,000円		5,000円	
教育会員	7,000円		7,000円	
学生会員	7,000円		5,000円	
海外正会員	12,000円		7,000円	
海外連携会員	12,000円		7,000円	
海外学生会員	7,000円		5,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員(*1)に属する社員	15,000円	不課税	7,000円	課税税込
懇話会会員	15,000円		7,000円	
部会個人賛助会員	15,000円		7,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円		7,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	15,000円	課税税込	7,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円		7,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円		5,000円	
(*2)AICHe:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe:韓国化学工学会, TwiChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
上記以外の方				
会員外	30,000円	課税税込	7,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	事前参加登録時同時購入 大会当日購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人/法人賛助会員)	3,300円/個(税込)	12,100円(税込・送料込)
本会非会員		23,100円(税込・送料込)

◇参加登録後のキャンセル(返金)について

一度ご入金いただきますと、理由の如何を問わず返金はできません。予めご了解ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格：3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。

ご購入は事前参加登録時にお申込みいただき現地で引換券と引き換えていただくか、あるいは現地にて販売いたします。事前参加登録時にお申込みいただいたもの、現地でお引き換えいただけなかった方は、後述する問い合わせ先まで大会終了後にご連絡ください。別途郵送いたします。講演要旨集USBメモリの数には限り

があります。

なお、講演要旨集は、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん、大会終了から3か月後にwebからダウンロード(無料；ディスクイメージファイル)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円(税込・送料込)、本会非会員は23,100円(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

問合せ先

◇事前参加登録およびお支払方法に関するお問い合わせ

京王観光(株)東京中央支店
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者:土橋(どばし),イム,園分(こくぶん))
TEL:03-5312-6540 FAX:03-5379-0740
E-mail:scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10:00～17:00

◇その他に関するお問合せ

化学工学会 第85年会実行委員会
E-mail:inquiry-85a@www3.scej.org

International Chemical Engineering Symposia 2020 (IChES 2020) 概要

会 場：関西大学 千里山キャンパス(〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)
会 期：2020年3月15日(日)～3月17日(火)
大会WebサイトURL：<http://www.miraiagaku.xii.jp/iches/>

International Chemical Engineering Symposia 2020 では、第85年会の一部でもある国際シンポジウムの5つのセッションを3月15日(日)から17日(火)にR会場、S会場、X会場、IChES

2020一般研究発表を3月17日(火)9:00～14:20にT会場で行います。

詳細は、大会webサイトをご覧ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会

と同日・同日程で併催される第85年会へもご参加いただけます。

令和2年度化学工学会賞候補者の推薦について

推薦締切 学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・女性賞・フェロー表彰：令和2年5月15日
功労賞：令和2年8月31日

令和2年度化学工学会賞（学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・功労賞・女性賞・フェロー表彰）の受賞候補者を会員各位より、下記募集要項をご留意の上ご推薦いただきたく存じます。

（アジア国際賞は、推薦締切が2月15日となり、webサイトにて推薦ご依頼申し上げます。）

なお、推薦方法の詳細及び推薦書はWebサイト（<http://www.scej.org/award/apply.html>）をご参照ください。

募集要領

1. 対象となる業績と候補者の資格

A. 学会賞

本会正会員であって、化学工学に関する優れた研究を行い、学術上特に大局的に顕著な業績のあった個人。（ただし、過去に研究賞を受賞した者は受賞してから満5年を経過しないと推薦を受けることはできない。）

B. 研究賞

本会正会員が行った化学工学に関する新規性に富む優れた研究、もしくは特に完成度の高い優れた研究で、学術論文誌に発表されたもの。ただし、本会誌掲載論文があることが必要。受賞者は個人もしくは3名以内の共同研究者。

C. 研究奨励賞

推薦締切時において満35歳未満の本会正会員であって、化学工学に関する優れた独創性・萌芽的研究を学術論文誌（本会誌に限らない）またはproceedingsに発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

D. 技術賞

本会正会員あるいは本会維持会員または特別会員である法人に所属する技術者であって、化学工学に関する技術または化学関連産業の技術に関して特に業績のあった個人もしくは5名以内の共同研究・開発者。

E. 技術奨励賞

推薦締切時において満38歳以下の本会正会員であって、化学工学または関連産業に関わる主として技術上の優れた業績をあげ、学術論文誌、特許、技報などで対外に発表した個人、または本会の年会・秋季大会・支部大会等で発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

F. 功労賞

①教育功労賞

本会正会員に限らず、化学工学およびそれに関連する基礎教育に従事し、教育上顕著な業績または功績のあった個人。本賞は、高校、工業高校、高専、および大学関係者等個人を対象とするが同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

②研究功労賞

本会正会員に限らず、化学工業技術に関連する業務に当たり、装置、器具の開発・改良、特殊技能およびデータの取得・整理などを通

して、研究支援に貢献のあった個人。本賞は、高専、大学、および企業関係者等個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

③学会活動功労賞

本会正会員、または本部、支部の職員（元職員、嘱託に準ずる者を含む）であって、支部、地区懇話会、あるいは本部の諸委員会での活動、会員増強などの学会活動を通じて、本会の発展に貢献のあった個人。

④国際功労賞

本会正会員に限らず、化学工学関係の国際会議等の運営及び海外関連学協会との交流・運営に貢献を行った個人。

G. 女性賞

化学工学または化学関連産業に関わる技術上の優れた業績をあげた、あるいは化学工学に関する優れた研究を行い、かつ男女共同参画推進のための制度や環境の整備に貢献した個人。

H. フェロー表彰

推薦時に化学工学に20年間以上関わっている正会員である者、あるいは10年以上本会に在籍する正会員（学生会員期間は除く）、および会長が推薦する正会員個人で、化学工学ならびに本会の発展に貢献し、今後も寄与する個人。

2. 表彰の件数

A. 学会賞	2件以内
B. 研究賞	3件以内
C. 研究奨励賞	5件以内
D. 技術賞	5件以内
E. 技術奨励賞	5件以内
F. 教育・研究・学会活動・国際功労賞	各2件以内
G. 女性賞	2件以内

3. 表彰の内容

A. 学会賞	賞状及び池田賞
B. 研究賞	賞状とメダル
C. 研究奨励賞	賞状とメダル
D. 技術賞	個人に賞状とメダル、代表者の属する法人に記念牌
E. 技術奨励賞	賞状とメダル
F. 功労賞	賞状と記念品
G. 女性賞	賞状と記念品

H. フェロー表彰 化学工学会フェローの称号

4. 表彰は、令和3年開催の本会表彰式において行う。

5. 推薦

(1) 学会賞・研究賞・研究奨励賞は、正会員の推薦による。推薦件数は、各賞につき正会員は1名あたり1件とする。技術賞は、維持会員、特別会員、支部長、部会長または地区懇話会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内、懇話会長は1件とする。技術奨励賞は、維持会員、特別会員、支部長または部会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内とする。女性賞は、維持会員、特別会員、正会員の推薦による。推薦件数は、各会員1件とする。フェロー表彰は、会長、維持会員、支部長、部会長、名誉会員または正会員の推薦による。なお、正会員は3名以上の連名による推薦とする。

(2) 本会で定めた推薦方法に従い、本人の了解を得た後、所定の書式による推薦書一式（電子ファイル）をWebサイト（<http://www.scej.org/award/apply.html>）内の推薦要項に従い、本会宛に5月15日までにアップロードして提出してください。

(3) 推薦された候補者は、所定の書式による選考資料一式（電子ファイル）をWebサイト（<http://www.scej.org/award/apply.html>）内の推薦要項に示されている手順に従い、6月30日までにアップロードして提出してください。

(4) 教育功労賞は、支部長または人材育成センター長の推薦とする。研究功労賞は、維持会員または特別会員の代表者、支部長、または部会長の推薦による。学会活動功労賞及び国際功労賞は、支部長、部会長または常置委員会委員長の推薦による。推薦件数は、各賞とも1件とする。

6. 問合せ先

公益社団法人 化学工学会
表彰委員会担当
TEL：03-3943-3527
E-mail：soumu@scej.org

人材育成センター

第21回上席化学工学技士交流会 (東京)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2019年までに191名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って2014年7月に始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様との交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で年4回開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2020年4月2日(木) 14:00～19:00
(今回は「化学工学技士」も参加できます)

対象 「上席化学工学技士」資格保有者
場所 化学工学会会議室(〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館ビル5F)
<http://www.scej.org/access.html>
東京メトロ丸の内線茗荷谷駅(東京駅から11分)下車徒歩1分

内容
司会：上席化学工学技士(千代田化工建設(株)) 細野恭生氏
1. 参加者自己紹介、名刺交換会(14:00～14:30)
2. 話題提供「エチレンイミン製造触媒プロセス～失敗とそのリカバリ～」(14:00～15:20)
上席化学工学技士 (RE技研、早稲田大学客員上級研究員) 常木英昭氏
3. 話題提供「上席化学工学技士活動の新しい展開についての提言」(15:30～16:30)
上席化学工学技士(出光昭和シェル) 町田雅志氏
4. 総合討論(講演内容およびその他テーマにて意見交換)(16:30～17:00)
(場所を移動)
5. 交流懇親会(17:30～19:00)

募集定員 24名(定員になり次第締切)
申込締切 3月29日(日)
参加費(税込) 4,000円(当日会場受付でお支払ください)
申込方法 化学工学会ホームページよりお申し込みください。
問い合わせ先 公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」のご案内

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

化学工学会人材育成センターでは、「化学工学技士」資格者のキャリアアップ、現役力強化を支援する目的で、プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」を開講致します。

プレミアム講座は、「しごとの常識」塾と特別教室で構成されており、「しごとの常識」塾では、キャリアアップのための実務能力を得るための基本的な知的情報を対話形式で提供します。

対象 「化学工学技士」資格保有者

講習目標 「しごとの常識」塾の入塾者には、基本編、中堅編、上級編を通して、それぞれ以下のようなテーマによるディスカッションを通して、マインドセット涵養の動機を与え、多様性と外発性が備わった自由な発想ができる「知的生産性の高い技術者」を目指すことを促します(心・体・理・知・行のバランスのとれた胆力)。

- ◆基本編
 - ①感受性：判断について
 - ②チームワーク：作業について
 - ③ボトムアップ：意思決定について
- ◆応用編
 - ①情報としごと：知識について
 - ②IT革命とグローバル化：昭和と平成のしごと
 - ③技術革新：胆力について(市場、対象、理論と経験など)
- ◆上級編
 - ①有事と平時のしごと；組織のしくみ
 - ②リーダーシップとフォロワーシップ；立場と役割
 - ③リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・行動様式)；組織力、人材育成

第6回「しごとの常識」塾～基本編②チームワーク～

日時 2020年4月11日(土) 13:00～17:30
場所 化学工学会会議室
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館ビル5F
(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅から11分】下車徒歩1分)
<http://www.scej.org/access.html>

講座内容
1. 塾概要および講師紹介
2. テーマ「チームワーク」の説明
3. しごとの常識とテーマ「チームワーク」について対話により理解を深める
4. テーマ「チームワーク」と知的生産性(アイデア産出性)の関係を理解する
講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員、化学工学会名誉会員)
募集定員 12名(定員になり次第締切)

参加費(税込) 基本編、中堅編、上級編を通して、初回5,000円(入塾料1,000円含む)、二回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払ください。

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行事リストからお申込みください。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/752>

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

第7回「しごとの常識」塾～応用編②IT革命とグローバル化～

日時 2020年6月6日(土) 13:00～17:30
場所 化学工学会会議室
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館ビル5F
(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅から11分】下車徒歩1分)
<http://www.scej.org/access.html>

講座内容
1. 塾概要および講師紹介
2. テーマ「IT革命とグローバル化」の説明
3. しごとの常識とテーマ「IT革命とグローバル化」について対話により理解を深める
4. テーマ「IT革命とグローバル化」と知的生産性(アイデア産出性)の関係を理解する
講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員、化学工学会名誉会員)
募集定員 12名(定員になり次第締切)

参加費(税込) 基本編、中堅編、上級編を通して、初回5,000円(入塾料1,000円含む)、二回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払ください。

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行事リストからお申込みください。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/753>
問い合わせ先 公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

第5回「しごとの常識」塾～応用編①情報としごと～(3/14 於：大阪科学技術センター)も現在受付中です(3/9締切)。

産学官連携センター

グローバルテクノロジー(GT)委員会 2020年度第1回委員会

E-mail : nagumo@nitech.ac.jp

日時 2020年4月10日(金)15:00開始
場所 名古屋工業大学 校友会館1階(正門入ってすぐ右手つき当たり)
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
JR中央本線または地下鉄鶴舞線 鶴舞駅下車 東へ徒歩約10分

講演会

15:00～17:00

- 「炭素繊維複合材料と東レ(株)の取り組み」
東レ(株)トレカ技術部 伊勢昌史氏
- 「小角X線散乱法でみるセルロースナノファイバー複合樹脂」
名古屋工業大学 生命・応用化学科 山本勝宏氏

懇談会

17:00～19:00 名古屋工業大学 校友会館1階
詳細 下記のURLをご覧ください。

<http://www.ach.nitech.ac.jp/~chemeng/GTHP/gttop.htm>

申込方法 懇談会参加の有無をご記入いただき、4月3日(金)までに下記連絡先のメールアドレス宛てにお申し込み下さい。
講演会(参加無料)の直後、講師を囲んでの懇談会に参加される方は当日4,000円を申し受けます。

連絡先 GT委員会 庶務担当 南雲 亮

SCE・Net第21回総会 および記念講演会のご案内

化学工学会SCE・Netは第21回総会を下記の通り開催いたします。

総会終了後、総会記念講演会および懇親会(第124回技術懇談会)を開催いたしますので、多数の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

日時 2020年4月23日(木)

総会・記念講演会 13:00～16:20

懇親会 16:30～18:00

場所 林野会館(東京都文京区大塚3-28-7)

TEL : 03-3945-6871)

地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車 駅より北西に8分不忍通り沿い

総会 13:00～15:00

記念講演会 15:00～16:20

講師 (公)地球環境産業技術研究機構(RITE) 副理事長 山地憲治氏

演題 脱炭素社会に向けた地球温暖化対策

要旨 わが国の地球温暖化対策の長期戦略では、最終到達点として「脱炭素社会」が掲げられている。脱炭素社会に向けた対策では、省エネや非化石エネルギー、CO₂回収・貯留(CCS)

など従来の対策に加えて、大気中のCO₂を減らすことも必要になる。今世紀末までのシナリオを描いた研究でも、電力供給に伴うCO₂排出を2050年以降はマイナスにするという結果が多く得られている。CO₂排出をマイナスにするためにはカーボンニュートラルなバイオマス発電とCCSを組み合わせる技術などが必要である。最近では回収したCO₂をメタンなどに変換して利用するカーボンリサイクル技術も注目されている。電気と同様に、水素もCO₂排出ゼロでの生産が可能なので、燃料分野では水素の役割に期待が高まっている。技術的な対応に加えて、IoT等を活用した超スマート社会(Society 5.0)の実現を通して、ライフスタイルや行動変化を誘発することも重要である。Society 5.0では、情報の活用によってエネルギーや素材の需要を大幅に低減できる可能性があり、大きなCO₂削減が期待できる。

懇親会 16:30～18:00

定員 60名。定員となり次第締め切らせて頂きます。

参加費 講演会および懇親会 5,000円(講演会のみ2,000円)

当日、会場受付でお支払下さい。

申込み要領 4月16日までにメールで事務局(scenet@scej.org)に申込み下さい。

その際に講演会のみご参加の方はその旨記載下さい。

部 会 C T

第19回反好会 (反応工学会若手会)講演会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

主催 化学工学会反応工学会

化学工学会第85年会(関西大学)の前日に反好会講演会を開催致します。企業若手社員と学生との交流の場として、“企業若手社員による会社紹介・業務内容紹介”も行います。研究講演、会社紹介・業務内容紹介ともに多くの皆様からご好評いただいております。ぜひお気軽にお越しください。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2020年3月14日(土)14:00～17:50

場所 関西大学千里山キャンパス内学会会場

研究講演

「熱分解を起点とするセルロースの有用化合物への変換化学」

九州大学 工藤真二氏

「pH勾配を感知して自律運動をおこなうオレイン酸系ベシクルの運動メカニズム」

同志社大学 名和愛利香氏

他1件予定

会社紹介・業務内容紹介

日本スウェージロックFST(株)、(株)ダイセル 他

懇親会(19:15～)

浪花ろばた八角DD HOUSE店

注意事項

★本講演会は無料でご参加いただけます。

★懇親会にもぜひご参加ください。なお、懇親会は有料です(一般5,000円、学生3,000円)。

★反好会HPからも情報をご覧ください。

申込先 「講演会」および「懇親会」に参加をご希望の方は、「反好会HP」よりお申し込みください。

申込締切 3月4日(水) 会場手配の都合上、お早めにお申し込みください。

反好会HP : <http://www2.scej.org/cre/wakate/index.html>

問合せ先 反好会代表幹事 百瀬 健(東京大学)

E-mail : momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp

地 域 C T



第44回 基礎化学工学演習講座

主催 (公社)化学工学会東海支部

共催 (予定)静岡化学工学懇話会、東海化学工業会、(公社)日本分析化学会中部支部、(公社)日本化学会東海支部、(一社)資源・素材学会、(公社)高分子学会東海支部、(一社)日本原子力学会中部支部、(一社)廃棄物資源循環学会、日本溶剤リサイクル工業会、(一社)日本機械学会東海支部、(一社)日本エネルギー学会、化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会

協賛 (予定)名古屋工業研究所、(公財)名古屋産業振興公社、(公社)日本水環境学会、(一社)電気学会東海支部、(一社)粉体工学会、(公財)中部科学技術センター、(公財)中部科学技術センター、(公財)中部科学技術センター、(公財)中部科学技術センター

社)電気化学会東海支部、(公社)有機合成化学協会東海支部

日程および会場

- 第2クール:2020年6月22~24日(月~水)9:15~16:45 名古屋市工業研究所第2会議室
 第3クール:7月8~10日(水~金)9:15~16:45 名古屋市工業研究所第5会議室
 第4クール:7月15~17日(水~金)9:15~16:45 名古屋市工業研究所第4会議室
 第5クール:9月2~4日(水~金)9:15~16:45 名古屋市工業研究所第4会議室
 第1クール:9月9~11日(水~金)9:15~16:45 名古屋市工業研究所第4会議室
 *すべてのクール:午前の部:9:15~12:30, 午後の部:13:30~16:45

交通 名古屋市工業研究所(名古屋市熱田区六番3-4-41)
 地下鉄名港線(金山から名古屋港行)六番町下車, ③番出口より徒歩1分

対象 第1クール:初めて化学工学を学びたい方。初めてプラント設計, 運転に関わる方。高卒程度の知識がある方。プラントや実験装置で起こる物質収支, 熱収支の基礎を学びます。

第2クール:基礎から応用例を学びたい方。工学部卒, 高専卒程度の知識のある方。第1クール程度の知識のある方。物質収支, 熱収支, 移動論の基礎から実践的な例を学びます。

第3~5クール:第2クールまでの基礎を修めており, 専門領域の基礎から実践的な例を学びたい方, エネルギー管理士, 高圧ガス製造保安責任者等の国家試験資格の取得を目指す方, 化学工学技士(基礎)の資格取得を目指す方。

昨今では, AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが, 化学工学の理論との整合性を踏まえて行われる必要があります。また, 高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は, ますます重要となってきています。

本講習会では, プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方, さらに専門的な知識を習得したい技術者の方まで, 原理や理論の説明に加え, 豊富な事例に基づく例題を解きながら学べる機会を提供します。受講者のレベルに応じて5つのクールを用意しました。専門知識の習得だけでなく, 装置設計への活用, 運転条件の最適化への一助としてご活用いただければ幸いです。また, 企業における社内教育の一部としてご活用いただければ幸いです。

第1クール, 第2クールは3日間連続して行われます。第3~5クールでは1日単位の受講になります。修了された方には, 修了証書を発行致します。

定員 第1, 第3~5クール:25名, 第2クール:60名(いずれも定員になり次第締切)
 ・企業向けの講座ですが, 学生が受講されても構いません。ただし, 定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。
 ・第3~5クールは各講義最少催行者数を5名とし, 開催しない場合があります。

特典 本講座を受講者に限り, 各クールで利用するテキストを1,000円(税込)にて特別販売いたします。

- *第1クールで利用するテキスト:『基礎化学工学』(共立出版)定価3,000円
 *第2~5クールで利用するテキスト:『改訂第3版 化学工学』(朝倉出版)定価2,500円
 テキストをお持ちでない場合は, 参加費にテキスト代1,000円を加えてお申し込み下さい。

参加費(消費税を含む)*共催:協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

	第1~2クール	第3~5クール
日数	3日間	1講義につき
正会員	¥25,000	¥10,000
法人会員会社社員	¥30,000	¥15,000
会員外	¥60,000	¥30,000
学生	¥10,000	¥5,000

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」からお申込み下さい。
<http://scej-tokai.org/>
 後日, 参加証とテキストをお送り致します。参加証は, 当日ご持参下さい。

送金方法 現金書留または銀行振込み
 みずほ銀行 名古屋支店
 普通預金 No. 1055521
コウエキシヤクダンホウジンカガクコウガクカイトウカイシブ
 「公益社団法人化学工学会東海支部」
 ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640
コウエキシヤクダンホウジンカガクコウガクカイトウカイシブ
 「公益社団法人化学工学会東海支部」

問合せ先 化学工学会東海支部
<http://scej-tokai.org/>
 TEL:080-4525-3070

プログラム

	月日	時間	講義	内容	講師
第1クール	第1日 9月9日(水)	午前	化学工学の入門(初歩)	単位と次元(I), プロセス変数, 状態方程式(I)	静岡大学 立元雄治氏
		午後		物質収支の基礎, 複雑なプロセスの物質収支, エネルギーの基礎	静岡大学 前澤昭礼氏
		午前		反応系のエネルギー収支	静岡大学 福原長寿氏
第2クール	第3日 9月11日(金)	午後		化学プロセスの基礎, 化学プロセスの計算	静岡大学 武田和宏氏
		第4日 6月22日(月)	午前	化学工学基礎・拡散	名古屋工業大学 名誉教授 多田 豊氏
			午後	単位と次元(II), 状態方程式(II)	日油(株) 押川貴成氏
第3クール	第5日 6月23日(火)	午前	流動	収支, 拡散, 物質移動, 燃焼計算	静岡大学 前澤昭礼氏
		午後		流体の流れと計測, 円管内の流れ, 流体輸送機器の設計と実際	三井化学(株) 片山淳平氏
		第6日 6月24日(水)		午前	伝熱
第4クール	第7日 7月8日(水)	午後	ガス吸収	伝導伝熱, 対流伝熱, 放射伝熱	日本製鉄(株) 杉森 薫氏
		午後		熱交換器などの設計と実際	名古屋工業大学 南雲 亮氏
		第8日 7月9日(木)		午前	気液平衡, 吸収, 膜分離
第5クール	第9日 7月10日(金)	午後	蒸留	吸収装置の設計と実際	名古屋工業大学 森 秀樹氏
		午前		気液平衡関係, 相対揮発度	日本リファイン(株) 小田昭昌氏
		午後		McCabe-Thiele作図, 特殊蒸留	名古屋大学 神田英輝氏
第6クール	第10日 7月15日(水)	午前	抽出・吸着	抽出・吸着の基本原理と応用	三菱ケミカル(株) 石羽 恭氏
		午後		抽出・吸着装置の設計と実際	大阪府立大学 岩田政司氏
		第11日 7月16日(木)		午前	粉粒体操作
第7クール	第12日 7月17日(金)	午後	固液分離	沈降分離, 濾過, 晶析の基本原理と応用	名古屋大学 向井康人氏
		午後		固液分離装置の設計と実際	(株)三進製作所 小栗秀一郎氏
		第13日 9月2日(水)		午前	調湿・乾燥
第8クール	第14日 9月3日(木)	午後	搅拌・混合	絶対湿度, 冷却減湿操作, 定率乾燥	(株)大川原製作所 脇屋和紀氏
		午後		乾燥装置の設計と実際	名古屋工業大学 加藤禎人氏
		第15日 9月4日(金)		午前	反応速度, 反応器の分類と性能, 生物反応速度
第9クール	第16日 9月4日(金)	午後	プロセス制御	搅拌・混合装置の設計と実際	岐阜大学 上宮成之氏
		午後		反応速度の設計と実際	三井化学(株) 小瀧 泰氏
		午後		プロセス制御装置の設計と実際	名古屋工業大学 米谷昭彦氏
第10クール	第17日 9月4日(金)	午後	プロセス制御	プロセス制御装置の設計と実際	三菱ケミカル(株) 福井創太氏

参加の際の注意
 (注1)関数電卓, 定規を使用しますので必ずご持参ください。
 (注2)昼食時間の一部(12:30~12:50)を講師への質問時間としてご利用いただけます。



中国四国支部

中国地区化学工学懇話会 2020年度 総会・記念講演会 のご案内

主催 中国地区化学工学懇話会, 化学工学会中
国四国支部

日時 2020年4月17日(金)14:30~19:20
場所 ホテル広島ガーデンパレス
〒732-0052 広島市東区光町1-15-21
TEL: 082-262-1122
JR 広島駅新幹線口より徒歩5分
<http://www.hotelgp-hiroshima.com/>

プログラム

1. 総会(14:30~15:10)
2. 記念講演会(15:20~17:10)
 - 1) 15:20~16:10 「非ニュートン流体系での気泡・液滴の流動ダイナミクス」
徳島大学大学院 社会産業理工学研究部
理工学域 機械科学系 太田光浩氏
 - 2) 16:20~17:10 「バイオと触媒で作る基幹化成品((株)ダイセルにおける環境・エネルギー対策研究のご紹介)」
(株)ダイセル事業創出本部
コーポレート研究センター
兼 金沢大学 先端科学技術共同研究講座
新井 隆氏
3. 交流会(17:20~19:20)

参加申込締切 2020年4月3日(金)

交流会参加費 4,000円(当日お支払い下さい)

申込方法 参加者氏名, 勤務先, 所属, 交流会参加の有無を明記し, 下記宛にE-mailまたはFAXでお申し込み下さい。

申込先 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座 中国地区化学工学懇話会
TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494
E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp



九州支部

第57回化学関連支部合同九州大会 ・外国人研究者交流国際シンポジウム

主催・共催 化学工学会九州支部ほか7化学関連支部

日時 2020年6月27日(土)9:00~17:00(予定)
会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野3-9-30)

[交通]JR小倉駅より徒歩5分

発表申込期間 3月1日(日)~4月10日(金)

予稿原稿締切 5月15日(金)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。
ほか特別講演(1件), 依頼講演(8件, 各支部推薦)

発表申込方法 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) から, 指示に従って, 以下の申込必要事項をお送り下さい。お申込み後に, 受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は, 本大会事務局(化学工学会九州支部) (godo20.scej.kshibu@gmail.com) にお問い合わせ下さい。

申込必要事項 1) 発表分野, 2) 発表題目, 3) 発表者所属機関の略称, 4) 発表者氏名(登壇者の前に✓印), 5) 学生の場合は, 研究室名, 指導教員の氏名とE-mailアドレスも記入, 6) 発表者の所属学協会(申込中を含む, 複数可), 7) 発表者の学年・職

なお, 発表分野は下記のいずれかをご指定下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学, (4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学

予稿原稿(約800字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは, 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) で公開します。執筆要項に従って作成し, PDFファイルに変換したものを大会HPに記載の方法で投稿して下さい。

注1: 大学院進学などでメールアドレス変更の場合は, 大会HPマイメニューより, ご変更下さい。

注2: 例年, 多くの修士1年生にご発表いただきますが, 申込内容等の不備(連絡先間違いや単著での申込み)が多くあります。指導教員の先生におかれましてはご指導のほど, お願い申し上げます。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は, ポスター発表1件につき3,000

円(予稿集1冊含む。当日受付にて, お支払い下さい)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求め下さい(1冊:1,500円)。
授賞式・懇親会 6月27日17:30(予定)小倉井筒屋本館8階レストランにて。

会費: 4,000円(当日, 懇親会会場にてお支払い下さい)。※ポスター発表受賞者は会費無料となります。

問合先 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 W1-A920

第57回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長: 深井 潤(九州大学))

E-mail: godo20.scej.kshibu@gmail.com

TEL: 092-802-2757

特別講演・依頼講演会[順不同]

特別講演 化学工学会九州支部推薦

Jeng-Yu Lin (Tatung University)
「Electrodeposition of transition metal selenide based materials for aqueous hybrid supercapacitors」

依頼講演 高分子学会九州支部推薦

谷口育雄(九州大学)
「低温成形可能な分解性高分子とその応用」

依頼講演 繊維学会西部支部推薦

吉見剛司(大分大学)
「両親媒性分子からつくる薄膜材料~ボトムアップとトップダウンのアプローチ~」

依頼講演 日本農芸化学会西日本支部推薦

角田佳充(九州大学)
「X線結晶構造解析による生体高分子の糖鎖認識機構解析」

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

末田慎二(九州工業大学)
「酵素反応を基軸としたタンパク質分析に資する蛍光ラベル化技術の開発」

依頼講演 電気化学会九州支部推薦

佐郷文昭(京セラ(株))
「Ni二次電池正極材料としての水酸化ニッケルの結晶抑制」

依頼講演 有機合成化学協会九州山口支部推薦

清水宗治(九州大学)
「フタロシアニンの構造物性相関に基づく機能性色素分子の創製」

依頼講演 日本化学会九州支部推薦

アルブレヒト建(九州大学)
「Head-to-Tail型カルバゾールオリゴマーの光・電子機能」

依頼講演 化学工学会九州支部推薦

武井孝行(鹿児島大学)
「バイオインスパイアードカプセル作製法」